

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 緑文

No. 692 **増**
2024年12月号

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359
T&F 043-291-2917

も・く・じ	ル・ジ
・ 神山弁護士が届いた訴状	2
・ ゆうちょ銀行を提訴しました	3
・ 「成瀬は天下を取りにいく」他	4
・ ち便りから	8
・ 久し振りのハツ場ダム	12
・ ハツ場ダム見学会	13
・ 山仕事(11月大平)	16
・ 花巻 大沢温泉	18
・ 湯の小屋温泉	21
・ 食料米を食料安保の要だ	22
・ 原発の新增設国民負担に?	23
・ グウト。	24
・ 選舉とSNS	25
・ ケ・リ・ジ・ば・ん	26



泉ゆきを心はいつも山頭火
(日本習字普及協会)

メール配信をご希望の方は、

suzukikosei.san@gmail.com

三宅伊都子さんが
対応してくださいます。

11月28日現在の
会員数183名

題字 故佐村隆英和尚(千葉県長柄町本光寺住職)
力ト 故泉ゆきをさん(にっぽん絵画の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ330

※この号の切手は花の形。

山仕事(11月、大平)

11月13日(木)快晴。暑からず寒からず山仕事にも快適な日和り。

敷地駅で正士、久米、若林さんに迎えられ、まずは深澤明男・富士代さんの豊田農場へ。明日売り出すというミカンを味見させてもらつた上、沢山いただき。感謝。近年、澤澤さんのミカンの評価が高く、常連の廉江さん山崎さんも入手に苦労している。

買物から帰り、竹中さんも加わりヨザ(正士お宅をばの斜面)に残った草刈る。

いつものように、廉江さんと久米さんが用意してくれた夕食は。

(夕) 刺身(本マグロ、ブリ)、山芋の千切り酢醤油、アスパラ菜のお浸し、竹中さんの竹の子とレンコンのひり辛炒め、ブリ大根とコンニャク、そして、大根葉と桜エビのちにぎり。

ちぬさんも一緒に頂く。食後、久いぶりに原田さんのケーナで、ちぬさんも歌える歌を合唱。

この夜、母屋で寝袋にくるまる。11月半ばといふのに、なんと蚊に刺された。

11月14日(木)くもり。朝、青山さんが次郎柿を沢山持ってきてくれた。

いつもは、三日間のまんぶりに水窓の昔乙女がご馳走を持って来てくれるのだが、いろいろ用事があるのだろう。

この日は、坂上和子さん方の畠柿園、家まわりの草刈り。山崎さんは午後からで、4人。あれども、竹中さんのハンマーナイフモアの威力もあって午前中に終る。坂上さんから「これからもお頼いします」とのお言葉が。

(昼) カボチャピザ、ポテトサラダ、野菜スープ、マイタケの油揚げにカボチャと柿のキッシュ。

午後は二手に別れる。原田さんは啓史さんと茶園の整枝。もう一方は、畠に到着した山崎さん、杉浦さんに若林さんとぼくの4人で、東垂れのワラビ園とツツジまわりの草刈り。どちらもかなりの作業量だが、ほぼ同時に終了。

夕方、「あらたまの湯」に行く皆さんと別れ、ぼくはTVぞ相撲見物。

(夕)、肉じゃが、サバの立田揚げ、カブと柿の酢の物、ホウレンソウのゴマ和え、竹の子とレンコンのきんぴら煮、杉浦さん提供のアオリイカの刺身とゲソのユズ味噌酢。ちぬさん、啓史さん、青山さんと一緒にいただく。

内田美智子さんから、今回は集中をいたしました。いつもありがとうございます。

～内田さんからの便り～

◇ 正士さん、みなさん、私は淡路島に行ったことがありません、生きているうちにに行けない気がします。

12月の飯田線をめぐる旅に行けたら、とてもラッキーだと思います。

本の中で一番好きなのは、リンドグレンの『さすらいの孤児 ラスカル』です。孤児院を逃げだした2歳の男の子ラスカルが、お父さんお母さんによってくれる人を探してはだしでさすらいます。

数年前、リンドグレン女史の生涯を描いた映画もありました。苦しみのあとに平和がやってきました。

川越には川がたくさんあり、田んぼもたくさんあります。11月3日、かわつるはつかり団地のそばの水鳥のさと公園の池のシラサギ17羽が、一斉に空に舞い上がり、すてきな舞しきを見てくれました。

食後、啓史さんと今後について話し合いました。前回よりもやわらかく、一步前を向いた話し合いました。もとより、正士さんと同じ対応は期待できませんが、家を守るという意志が感じられ、そこに猫の手がある手伝いする余地もありそうでした。さらにこの後、話し合いが重ねられるものと思われます。

11月15日(金)、くもり。夜の雨は上がったが、ツツジ園は水滴が一杯と思われ、作業を取りやめて急遽早帰りとなりました。

杉浦さんと若林さんの車で御川まで送ってもらい、帰宅。おかげで雑誌の発行が一日早まりました。